

M処理/S処理製品の特長

(表面処理別比較表)

材質	表面処理	耐摩耗硬度	耐熱温度	面粗度	曲げ・衝撃強さ
SKD61	M処理	焼入硬度 58HRC～ 表面硬度3200HV～	約500℃	0.6a	◎
SKD11	M処理	焼入硬度 58HRC～ 表面硬度3200HV～	約500℃	0.6a	○
SKD61	S処理	焼入硬度 58HRC～ 表面硬度3,500HV～	約1200℃	0.8a	◎
SKH51	S処理	焼入硬度 61HRC～ 表面硬度3,500HV～	約1200℃	0.8a	○
SKD11	Dコート処理	焼入硬度 58HRC～ 表面硬度 3,000HV～	約500℃	1.6a	△

(M処理製品の特長)

- ・通常のDコートに比べて、折れ難い、面粗度が低いのでスパッタが付き難い
- ・1ロットから製作が可能な為、内製図面にも対応可能
- ・焼き入れ硬度を指定が出来る為、顧客環境に適合した表面処理が可能
- ・既存使用品の形状改良のご提案により、折れにくい、割れにくい形状に変更可能

(S処理製品の特長)

- ・耐熱温度が1,200℃と優れており、スパッタ等による高熱の負担が掛かる工程でも表面処理が剥がれにくい
- ・1ロットから製作が可能な為、内製図面にも対応可能
- ・表面処理が不要な部位にマスクングが可能
- ・焼き入れ硬度を指定が出来る為、顧客環境に適合した表面処理が可能
- ・既存使用品の形状改良のご提案により、折れにくい、割れにくい形状に変更可能

* 上記M処理・S処理製品に関しては標準スペックを記載しております

お客様のご使用環境に合わせた仕様も製作可能です、是非ご相談下さい